

おあしす



特定医療法人 南山会

親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな
・アルプス訪問看護ステーション

2024 12 第38巻12号
(通巻448号)



峡西病院の理念

「その人らしさをともに創造する」

人生の新しい目的や意味を一緒に考え、
より良い人生を伴走していく

山梨県知事表彰

きがる館
地域福祉の推進に貢献

当法人の設置する地域活動支援センターきがる館が、10月22日、山梨県立文学館にて開催された令和6年度第71回山梨県精神保健福祉大会において山梨県知事表彰を受けました。



きがる館長 和泉 和仁

■表彰理由

山梨県知事表彰は、県内の精神保健福祉の推進に貢献し、その功績が顕著であると認められた個人や団体に贈られます。

きがる館は山梨県内で初めて設置された地域活動支援センターと

して、精神障害者が地域の一人として活躍できる場を長年に渡り提供し、精神障害者の社会参加の推進に大きく寄与してきたことが認められました。

■きがる館長より

●受賞の感想

きがる館は山梨県内で初めて地域活動支援センターを立ち上げました。開設当初から利用者と職員が協同で施設運営を行い、利用者の活動場所（居場所）としての機能にとどまらず、障害者の社会参加の推進にも力を注いできました。今回の受賞にあたり、きがる館運営に携わっていただいた利用者や職員の方々に感謝申し上げます。

●今後の活動について

障害者の日中活動の施設が増えている中で、日中活動に乗れない障害者等の受け皿としての役割や就労施設に移行する前の準備期間（生活リズムの確立など）としての機能・活動などを充実させていきます。そのほか、引き続き市民後見人講座、地域の施設職員向け研修などで講師の役を担い、人材育成や障害の啓発活動にも力を入れていきます。

百歳体操体験会

地域活動支援センターきがる館と、南アルプス市の飯野地区支え合い協議体は、地域の高齢者と障がい者の健康増進・地域交流・居場所づくりを目的とし、10月4日かがやきセンター（南アルプス市健康福祉センター）にて「いきいき百歳体操体験会」を開催いたしました。

■健康増進と地域での孤立を防ぐ
地域活性の取り組み

日本の超高齢化社会において、団塊の世代が75歳となる2025年には75歳以上の人口が全人口の18%、2040年には65歳以上の人口が約35%になると推計されています。高齢者の健康寿命を延ばすため、きがる館は支え合い協議体と協力し「いきいき百歳体操体験会」を開催しました。この百歳体操は、高齢者でも簡単にできる筋力低下予防の体操で、転倒や骨折の予防に効果があるとされています。

■体験会の模様

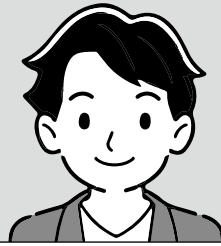
今回の体験会では、きがる館の

藏條精神保健福祉士が司会を務め、飯野地区の住民の方達など25名が参加されました。

体験会では初めに南アルプス市介護福祉課の保健師から百歳体操の説明があり、その後参加者は映像を見ながら30分間の体操を行いました。終了後には質問や感想の時間が設けられ、参加者からは体操の頻度や対象年齢についての質問が多く寄せられました。



令和5年度 目標管理発表会

◇敢闘賞◇
クレル病棟
望月 裕太

目標

- ・病棟内で発生したヒヤリハット・インシデント報告のレポートを作成し職員間で周知できるよう掲示していく。
- ・病棟内の事故係で分担して継続していき再発を予防しアクシデント発生を0件とする

動機

アスピール病棟ではインシデント発生した際、カンファレンスを行っている。

カンファレンスでは職員同士でインシデントの内容や対応策について話し合っているが、その場に出席していない職員には内容が伝わってお

らず共有できていない状態だった。それによるものなのか、短い期間で同様のインシデントが発生することもあった。

そういった経緯から情報の共有・周知が課題となっていた。

そのこともあり、前々年度から個人の目標管理としてインシデントについての報告書を作成して職員全体へ周知に努めていたが、今後も病棟で同様の活動を続けていくためには他職員も作成できる必要があると考え、病棟内の事故係で分担して行うことにした。

前年度の取り組み

- ・前年度からヒヤリハット・インシデントについてまとめたレポートを作成し、病棟の申し送りファイルに掲示した。

- ・レポートは発生した患者さんの氏名、日時や状況、その経過や対応策について項目を分け、見やすいように簡潔にまとめた。

- ・表紙にある職員のリストにチェックしてもらって全員みただか確認をしながら周知を促した。

- ・その結果、職員への周知はできた

が、実際にはレポートの作成に時間がかかるため、インシデントが発生した翌月の中旬以降に掲示が遅れた。また、レポートを作成するにはインシデントの内容をまとめるために全体の流れを把握したりなど負担も大きく、今後病棟の活動として継続していくことは困難という課題も残った。

今回の取り組み

- ・前年度から「作成に時間が掛かる」「作成者の負担が大きい」という課題が残った。

- ・まず、作成時間短縮のため転倒転落や薬剤に関わることなど重大な出来事に絞ってレポートを作成した。

- ・また、職員への負担を軽減できるように病棟内で3人の職員に月ごとに割り振りローテーションで作成を行った。

結果

- ・病棟職員3名で協力し1年間レポートを作成・掲示を継続できた。

- ・アスピール病棟でのインシデント・事故報告の件数には前年度が154件、今年度が179件と前年度に比べて25件増加した。

これについては職員のインシデント報告についての意識向上により増えている可能性もあるが、アスピール病棟は入院が頻回な病棟であるため状況の変化も

激しく、単純な比較は困難となっている。

さらなる課題

- ・職員で分担してレポートを作成したが、職員ごとに制作できるペー
- スは異なり、実際に作成できるのは翌月の中旬以降となることも多く
- ・掲示へのスピードはあまり変わらない結果となった。そのため、インシデントが発生してから職員が把握するまで時間差が生じる
- ことになり、より迅速な周知・拡散がさらなる課題として残った。

現在の取り組みについて

- ・前述した課題について病棟内で話し合った結果、電子カルテを活用してはどうかという意見が出た。
- ・現在ではインシデントについて話し合った内容を電子カルテに残し全体に伝えることで作成時間の短縮や周知までの時間短縮を行っている。

おわりに

- ・当初は個人だけで取り組んでいた活動だが、翌年からグループや病棟全体で活動できるようになり、職員の間でもインシデントについて意識する風土を作れて行けたと思う。

今後も引き続き取り組んでいき事故予防に努めたい。

OT・PT だより



10月17日(木) レク行事委員会主催の「南山会のだ自慢大会2024」が開催されました。場所は楽山館1階OT・PT室で行われ、個人参加、グループ参加合わせて20名以上の歌い人達が熱い歌唱力を披露しました。日頃のリハプログラムなどで練習を重ね、新しい曲に挑戦する方もいました。自身の十八番を歌うかたもいました。今回は室内で行ったため、会場の雰囲気を意識しました。会場の照明を工夫し、よりステージに登る方が目立つようにスポットライトを用意したり、OT・PT室の照明の位置を変えたりしました。また応援するかたの工夫も考えました。ペンライトを用意したり、応援する側も楽しく参加できるように工夫しました。そういった効果もあってか、会場からは「がんばれー!」と声は上がったたり、熱い応援が送られました。

これからも普段のリハプログラムがこういった場に繋がっていくような企画を考えていきたいです。

リハビリテーションセンターだより

Q & A

Q どのような環境(建物)でリハビリテーションを行っているのでしょうか?

A 峡西病院精神科リハビリテーションセンターは、外来棟(与進館:2020年1月より運用開始)の2階にあります。広さは約577㎡です。リハセンターは、大きく3つの目的別(目標志向型、生活充実型、復職準備型)のグループが、各グループにホームルーム(拠点となる部屋)があります。また、ミーティングルームと呼ばれるグループ活動を行う部屋と個別相談の部屋がそれぞれに用意されております。さらに、調理を行う場所としてキッチンスタジオ、動画や音楽を視聴できる視聴覚室、バイクやウォーキングマシンを備えたフィットネスルームなどがあります。総合受付前の階段を昇ってすぐの場所にスタッフルームがあります。フィットネスルームの北側の大きなガラス窓からは八ヶ岳、目標志向型ホームルームの南側カウンターからは富士山を遠くに望むことができます。

プログラム紹介

生活充実型プログラム 公共交通機関を学ぶ

【活動曜日】 毎月 第一火曜日開催

【活動内容】

山梨県は、車の移動手段が主になっています。車の運転が出来ない方は公共交通機関が移動手段となります。しかし、一人で乗るのは不安、練習する機会が少ない等中々行えない現状があります。リハビリテーションセンターでは、公共交通機関(身延線、山交バス、コミュニティバス)を使った、移動訓練を自立訓練として行っています。自らの力で外出、出勤が出来、行動範囲が広がることで、楽しく豊かな充実した生活をおくるサポートをしていきたいと思ひます。



興味のある方、見学や利用をお考えの方は、スタッフまで気軽にご相談ください。 ☎055-282-2151

* ホームページをぜひ、ご覧ください。

峡西病院 リハビリのご案内 検索

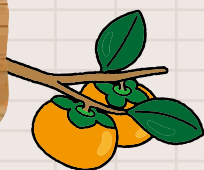
ろうけんTimes

TOPICS

今月の

3F
通所
リハビリ

午後のレクリエーションにて、ハロウィンパーティーをしました。みんな仮装をして楽しみました。

2F
認知症
専門棟

『制作の会』で柿の木と、柿の実をみんなで作りました。甘い柿が食べられました。



制作グループによる、もみじの短冊づくりを行いました。思い思いの飾り付けをして楽しみました。

1F
一般棟

* 峡西老健のホームページもご覧ください。

峡西老健 検索

峡西老健
の理念

優 優しさ

友 友愛

結 人と人

～あなたに優しく、あなたを思い、あなたと結ぶ～

本の紹介コーナー

今回は、つかさんさんにおすすめの本を聞きました！

本の題名：図書館戦争シリーズ

(作者：有川浩／出版社：メディアワークス／出版年：2006年2月～2007年11月)

●読んだきっかけは？

物語に出会ったのはアニメが始まり。アニメが面白く描かれていない部分について知りたくなり原作を読み始めたのがきっかけです。

●おすすめのポイントは？

- ①SF、ミリタリー、恋愛が主軸になっているがテンポ感よく、飽きることなく最後まで読み進める事ができる！
- ②メディアミックスしているため小説が苦手でもマンガ・アニメ・実写映画で物語を楽しむ事ができる！
- ③主人公：郁をはじめ魅力的なキャラクターが多数おり、物語を通じてキャラクターの成長過程が分かり感情移入がしやすい！キャラクターを形容する言葉をみると思わず笑ってしまう。
- ④主人公：郁が探している「王子様」の正体は…ちなみに読者や周囲の関係者にはもろバレなのだが(笑)その関係性に思わずほっこりしてしまう事この上ないです！
- ③・④に関しては各自で確認してください。

特定医療法人南山会は常によりよい医療を行うことによって、地域社会に貢献することを目的として設立されたものである。職員は常に技術の向上に心掛けるとともに、知性を磨き品性を養い、自己の人間形成に努めるべきである。

■ 職業倫理

1. 患者の人格の尊厳と権利を尊重し、心のこもった対応をして信頼を得ること。
2. 最善の医療を提供するために、常に学術的知識と技術の習得に努めること。
3. 自らの義務と責任を自覚して人格を高めること。
4. 職場内外の医療専門職の権利を尊重すること。
5. 医療の公共性を重んじて地域社会に貢献するとともに、法規範を遵守すること。
6. 良質の医療を提供するために、自ら心身の健康保持と増進に努めること。
7. 精神障害者に対する理解を深め、精神障害者とその障害を克服して社会復帰をし、自立と社会経済活動への参加をしようとする努力に対して協力すること。

万華鏡

十数年前峡西病院に就職した時、保育園児だった娘二人、今は大学生と高校生になった。そして40歳で出産した息子も小学生。子供の成長と共に自分自身の老いを日々感じる今日この頃である。昔から食べることが大好きで食べ放題は得意だったが今は食べたい気持ちはあるものの胃袋が受けつけない。こつこつとした物や油物はすぐに胃も

たれしてしまふ。大好きな菓子パンもチョコレートもあり食べなくなつた。そして若い頃はいくらでも眠れた。夜勤明けはそのまま翌日まで眠りにつくこともあった。でも今は夜中に何度も目が覚める。朝は5時過ぎには起きてしまふ。寝ることも体力のいることと誰かが言っていたがその通りである。小学生の息子の外遊びはともて体力がある。自転車練習は息が上がりついていくことができない。宿題を見るのにも老眼鏡が必要になりスマホの文字は拡大にしている。楽しいテーマパークもショッピングも億劫に感じることをさえる。しかしネガティブな感情ばかり

ではない。いろいろな経験から元気に一日が過ごせることに感謝の気持ちも感じている。自然災害や巨大地震で当たり前の日々が当たり前じゃなくなることは他人ごととは思えない。明日何が起きるか分からないからこそ一日一日を大切に後悔なく生きたいと思うようになった。これから来るであろう更年期ともうまく付きあっているかと思ふ。年を重ねてもどんなことも決してあきらめたりせずポジティブに思考を転換していきけるようにしていきたい。今は顔の小じわをどうしたら減らせるか日々奮闘している。

(はなこは)

私の最近の楽しみは、野菜を作ることです。幸いに我が家には広い畑があるのでそこにいろいろな野菜を作っています。子供が小さい時には仕事と農作業の両立はできませんでしたが、今は休みの日を利用して畑に通っています。苗を購入して移植することもありますが種から育てるとまた格別なものがあります。種が発芽すると「やったー」と心の中で思いつつながら毎日成長を見て一人で喜んでいます。でもいつも必ず発芽するわけではないので発芽しない時には「まだかな? 種がだめになつたかな?」とがっかりしてとき直す事もあります。でも野菜が大きくなつて収穫の時期を迎えるとわくわくしま

私の趣味

す。たくさん作りすぎて食べきれない時も・・・虫食いや鳥につつかれるものも多くなり一喜一憂する事もあります。草取りが一番大変ですが最近はそのあまり気にせず草取りに専念しています。畑に行くことが私のストレス発散になるのかも知れません。今年は夏野菜をほぼ作って収穫しました。今からサツマイモを収穫します。今回は、シルクスイート、紅はるか、安納芋の三種類をつくりました。焼き芋や干し芋をつくろうかと考えています。また新しい野菜作りに挑戦していこうと思っている今日この頃です。

こちら編集室

本間に便利な世の中だけど・・・AIいわゆる人工知能の急速な発達とは「分単位」と言われるほど驚異的な速度で進化を遂げています。もちろんそのAIの技術により、複雑で難解な諸問題を解決できたり、人々の生活の向上や経済成長をもたらしたり、さらには自然災害等の予測や対応が期待されるなど、大きなメリットが沢山あります。しかし、それらが悪用された場合の、犯罪の巧妙化や偽情報による社会の混乱さらには「人類絶滅」という深刻なリスクも指摘されています。

著名なAI研究者であり「AIのゴットファーザー」と呼ばれるトロント大学のジェフリー・ヒントン名誉教授は「AIの学習手法を開発してめざましい成果を上げた」「このままAIを開発し続ければ大変なことになる。これからはAIの危険性について警鐘をならす為に活動したい」と述べています。また、AI技術が急速に進化する中で、悪人がAIに悪い目標を与え、大量の偽情報をネット上に拡散したり、生物テロ・サイバー戦争が起これたりする懸念を懐いているそうです。

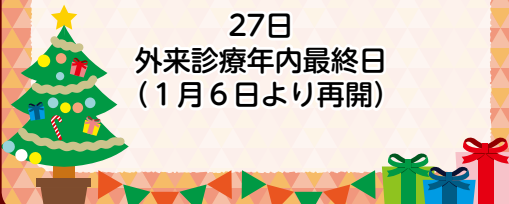
いくら科学技術が進歩しても、それを利用する人間の生命(心)が濁っていれば、その技術は人々を幸福にするどころか、むしろ人類の危機をもたらしてしまう。「人の生命が濁っていたら幸福のためと思つて手にしたもの、全て不幸の原因になつてしまふ」心という根本からの変化が必要ですね。

今月の予定 12月

5日
防災委員会

17日
新任者集合研修
「精神科デイケア」

27日
外来診療年内最終日
(1月6日より再開)



今月の一枚



我が家の末猫の「タル」韓国語で「月」という意味です。おてんばで、活発な女の子です。

おあしす広場

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

どうもろこし最近食べたくなったかな
今福 和人

冬至にてゆず湯をたてて香ぐわしく
いの一番に父にすすめる
大森真知子

霜柱サクサクふみし孫笑顔
カナメ

亡き友のつめたき朝のルーティーン
恵風

お神楽を楽しみにして冬来る
保坂五十鈴

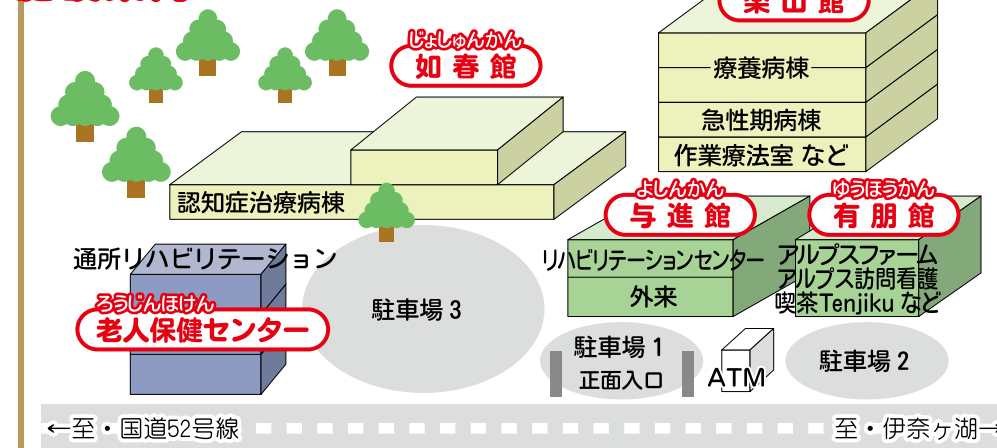
大晦日笑って泣いてご満悦
和心

雪の華今年の冬は初開き
渡辺 あき

そして生きることのすばらしさ
渡辺奈美子

※掲載は五十音順です。

施設案内 ※敷地内全面禁煙です☹



交通案内 MERRY CHRISTMAS

- JR中央線
甲府駅より車で40分
- JR身延線
東花輪駅より車で15分
- 中央高速
甲府昭和ICより車で30分
- 中部横断道
南アルプスICより車で5分
- 山交バス
甲府ー南アルプス市甲西支所行き
(十五所経由) 鰺沢営業所行き
(西野経由) 鰺沢営業所行き
小笠原下仲町バス停徒歩5分

月刊おあしす第448号 1987/9/5創刊

発行所

〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地421
TEL 055-282-2151 FAX 055-284-4886
URL <http://www.nan-zan.or.jp>

特定医療法人 **南山会**

* 広報委員会 *

川崎洋介、大槻清志、川口 敦、對馬鈴香、河西崇子
雨宮尚登、山岸由佳、清水悠司、相川なつき、金丸彩

**次回449号も
お楽しみに!**